



## 理科系の作文技術 木下是雄著 本編と漫画編

例えば小学生の遠足の作文

1. きのうみんなで桜の花を見に公園に行きました。
2. とてもきれいで楽しかったです。
3. お弁当がとてもおいしかったです。
4. 帰りがけ雨が降りました。
5. とても寒かったです。

理科系の作文技術的に評価すると、2, 3, 5番目の文はアウト。  
漫画編とあわせ是非本編も読んで下さい。

レポートや論文を書く前に  
必読の書です。  
どうしてもかば本書を読んで  
みてください。



## 空気の発見 三宅泰雄著

科学や人生に対する著  
者の熱い思いが伝わって  
きます。

高校、大学初年度の化学で学ぶ内容が、その歴史的背景から説明されています。

ボイル、ラヴォアジエ、アヴォガドロといった偉大な化学者の思考の足跡をたどることで、現在我々が当たり前のこととして受けいれている知識が、どのような過程を経て形づくられてきたかが鮮やかに描きだされています。



学生時代から、今に至るまで  
お世話になっています。

## 古典力学 ゴールドスタイン

京都にある吉岡書店からは、数学・物理分野の書籍が多数出版されています。  
多くは私には専門的すぎて縁が無いのですが、量子力学や統計力学に進むために必要な  
解析力学の良書です。

同社から、ドウジェンヌの「[表面張力の物理学](#)」も出版されています。



## ファインマン物理学 (3) 電磁気学 ファインマン

講義で電磁気学を一通り学んだあとで読むと  
丁度良い内容です。  
名著の評判の高い本です。内容は多少、難しいのですが…

ファインマン先生につ  
いてもっと知るには、



ファインマン先生の独特な  
語り口は、読者を物理の核  
心にいざなってくれます。

これはひとえにファインマン先生のお人柄によるものだと思います。



## 星の王子さま アントワーヌ・ド・ サン＝テグジュペリ

サハラ砂漠に不時着した筆者は、  
そこではじめて王子さまに  
出会います。

「羊の絵を描いて」、と王子さま

筆者は3枚羊の絵を描きましたが、王子さまは満足しません。

業を煮やした筆者は、「この中にいるよ」、と箱の絵を描いて渡しました。

意外にも、それを見て王子さまは  
「これが欲しかったんだ」、といました。

“大切なものは目に  
見えないんだよ。。。”



## モンテ・クリスト伯 アレクサンドル・ デュマ・ペール

[蔵書検索はこちらから](#)

モンテ・クリスト伯爵ことエドモン・ダンテスが監獄から脱出、復讐を果たすという小説  
です。日本では長く「巖窟王」として知られています。

勉強の息抜きにおすすめです。

上質な娯楽小説”

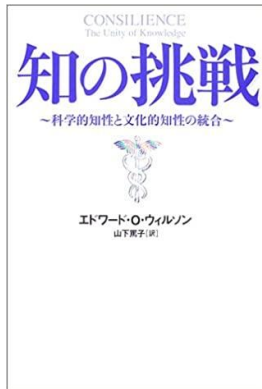
と言ったら仏文学者に怒られるかもしれませんが、実際、ワクワク、ドキドキ、  
読み始めたら最終巻を終えるまで止まりません。

吉川英治の宮本武蔵も寝食を忘れて読みました。



## 人間の本性について E・Oウィルソン

ご紹介頂いた書籍は古書の為、新規購入できませんが、相互貸借で取り寄せ可能です。  
別の E・O ウィルソン 作品を読んでみませんか？



最近新聞は読まないのので書評はもっぱらネットからですが、昔は新聞の日曜版に載る書評を毎週楽しみにしていました。

玉石混交だったと思いますが、学生で金欠だったので、やみくもに買うより、書評から選んで買ったほうが当たりの確率が高かったです。

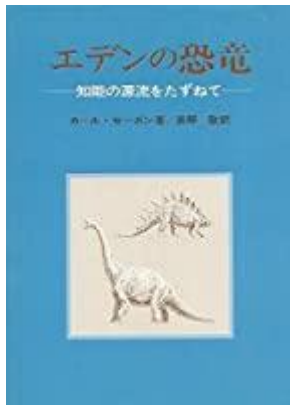
この本もそうでした。内容はあまり覚えていませんが、良い本だったということは覚えています。手にとってみて下さい。



[若き科学者への手紙](#)

玉石混交  
優れているものと劣った  
ものが一緒くたであるさま





## エデンの恐竜 カール・セーガン

ご紹介頂いた書籍は古書の為、新規購入できませんが、別のカール・セーガン作品を読んでみませんか？



昔読んだ本なので詳細は覚えていませんが、人間の脳では人間が進化で獲得した部分の奥に爬虫類由来の部分が同居していて、この二つの対立、協調が人間の思考、行動を規定している、といったことが書いてあったと思います。

エデンの園で生まれた人類の頭の中に恐竜が住んでいるわけです。

人間の複雑な思考、行動を物質論ベースで納得する一助となります。



## 悪魔の辞典 ビアス

言葉の意味の本質は皮肉な表現をとおしてのみ明らかにされる、ということを知ることができる本。



以下引用。安心(comfort):隣人が不安を覚えているさまを眺めることから生ずる心の状態。

運命(destiny):暴君が悪事を行う時に利用する典拠。愚者が失敗をしでかした時に持ち出す口実。

たわごと(nonsense):すばらしい出来栄の本辞典に対して唱える異議の数々。